



# コミュニティぬまづ第一

沼津第一地区コミュニティ推進委員会広報紙 第31号 平成17年1月1日発行

沼津市長 斎藤 衛



新年あけましておめでとうございます。皆様には、晴れやかな平成十七年の初春を、健やかにお迎えのことと心よりお喜び申し上げます。

いよいよ今年は、戸田村との合併という、新しいまちを創造する記念すべき



第一地区コミュニティ  
推進委員会会長 平林 高雄

## 新年明けましておめでとうございます

飛

年となります。地方分権の大きな流れの中で、県東部地域の拠点都市にふさわしい活力とにぎわいあふれるまちづくりに向け、市民の皆さんと行政との協働により生み出されるエネルギーを糧に、夢と希望に満ちた沼津市の建設に取り組んでまいりたいと考えています。

沼津市が将来にわたりこの地域の中核としてふさわしいまちづくりを進めるためには、中長期的視野に立つて取り組むべき事業にも正面から対峙し、その歩みを着実に進めていかなくてはなりません。中心市街地の活性化を図り、まちの活力を喚起するため、沼津駅周辺整備事業の推進と併せ沼津港の周辺整備事業等を更に進め、駅から港まで回遊性のある、楽しみながら歩くことが出来るような空間を創出していくことを考えていま

す。また、2007年に開催の技能五輪国際大会は、世界に沼津をPRする事業として、国、県と共に、ぜひとも成功させなくてはならない事業であり、地域発展の契機としての期待も胸に、大会本番やその後の跡地の活用等を見据えた準備や諸整備を進めているところです。

どうか本年も、変わらぬご理解とご協力を願い申し上げますと共に、第一地区的更なる発展を心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。

明けましておめでとうございます。皆様には清々しい新年をお迎えの事

と、心からお喜び申し上げます。

昨年のコミュニティの諸行事も、ベテラン事務局長をはじめ、スタッフ、皆様のご協力より和やかに終了し、本年度の主な行事も一月九日の成人式と、二月十

五日の「男女共同参画地域出前講座」を残すところとなりました。さて正月から物騒な話で恐縮ですが、昭和五十一年八月静岡県から「東海地域で大地震が明日起ころとも不思議でない」という、東海地震説が発表されており、二十八年も過ぎました。和歌山県、新潟県、北海道と昨年連続して地震に見舞われ、静岡県もいよいよ覚悟を決めなければいけない時期になりました。

(三五五七世帯)の結束は勿論ですが、実際の防災活動は各自治会単位でなければその効果は期待が出来ません。阪神地震の際も、自治会活動の活発であつた自治会からは一人の死者も出なかつたという結果が出ております。今、第一地区では納涼祭、はばたき祭、コミュニティ祭とコミュニティ活動は活発に行われておりますが、各自治会単位の活動は、これにかまけて疎かになつて来ている風潮にあります。「これからは自治会毎でのお祭り、(①上土町のアロハピック、②添地町の道路を封鎖しての夜店、福引き、③末広町

青友会の餅つき大会、④八幡町青年会の年越し、そば大会)の実施、町起こしの町内一齊清扫は役員だけでなく、全町民の参加を図り、町内のコミュニケーションを密にしていく」とが大変なことだと思います。そして「自らの命を自ら守る」とが出来ない方々もいます。この様な人達を隣り組、自治会はしっかりと掌握しておき、災害時に備えて、誘導者を沢山集めておいてください。今後ともコミュニティ活動、自治会へのご協力をよろしくお願ひいたします。

# 第一地区「コミュニティ祭開催!

とてもうれしいです。  
今までで、最高の「コミュニティ祭」  
になったと思います。

爽やかな秋晴れの十一月二十一日、第一地区「コミュニティ祭が開催されました。新しい企画も増え、多くの地区の方々や一小一中の生徒の参加を得て年々その賑やかさを増すと共に世代間の交流も深まって来ている様に感じました。

関係者各位のご協力に感謝致します。

実行委員長 牧村義明



一生懸命の熱唱です

わたしは一年生として、はじめて「コミュニティさいにさんかしました。一年生のえんこうは、きらきらぼしとおむすびころりんでました。わたくしはおおきなうえおはなしをしました。はじめはドキドキしたけれど、うたっているうちにとてもたのしくなりました。おわったあと、たくさんのはくしゅをもらいました。それでもうれしかったです。そして、たんぽぽ「ラスでは、五きょくのうたをきれいにうたいました。六年までのそれぞのうたやがつそとはとてもじょうずでした。わたしもおきくなつたらあのようになつたをうたいたいなあとおもいました。らいねんもがんばりたいともいました。

第一小 三年 風間 葉  
みんな楽しかつた  
音楽祭



屋台も大繁盛でした

5年生での  
「コミュニティ祭」  
第一小 六年 松原 理恵

今年私は合唱の伴奏をしました。たくさん練習して、できるようになります。みんなで合わせると、アルトとソプラノに分かれませんでした。私はとても不安になりました。その日から五年生合同で練習するようになりました。ずっとひいていたので手がとてもいたみました。けれどみんなとても一生けん命にやっていたので、ぜんぜんいいきでした。そして、どんどん上手になりました。

いいよ本番、五年生の番です。始めたとたんすこくきれいでびっくりしました。今まででも一番よかつたと思ひます。練習してきた成果が出て

て、三年生の出番が回ってきました。けれども、歌う場所についてたどり着くよりも、とても歌いたくなりました。それより、曲が始まって歌っている時、わたしあとでも楽しくなりました。次に、「明日があることを答をうしました。わたしはタインバリンで、とてもきんちょうしていました。それは、体育館で練習した時、思ったより音がひびいて、失敗したらどうしようとも、みんな心を二つにして、とてもじょうずにできました。



大賑わいのコミュニティ祭

「コミュニティ祭  
囲碁・将棋大会結果



大接戦が繰り広げられました

囲碁	優勝	宮代さん	(錦町)
	二位	伊東さん	(真砂町)
	三位	高島さん	(西条町)
将棋	優勝	渡辺さん	(八幡町)
	二位	田中君	(白銀町・中一)
	三位	杉村君	(白銀町・中一)

## 成人を迎えるにあたつて

白銀町 高橋弘樹

私はこの度、成人を迎えることになりました。「成人」とは大人、つまり一人前のことを指す言葉ですから、つい最近まで全くの子供として扱われてきたような気がしている自分にとって、「成年」という言葉にはどくか不思議な響きがあります。人の成長には個人によって差があるでしょうし、社会が複雑化するに従つて、「成人」に要求されることも高度になってきました。二十年前になれば成人というは観念的です。現代には馴染まないかもしれません。私は成人になるというとは、社会から成人としての人格を期待されると「う」とであり、自分自身がそれを自覚して、大人として恥じる「う」とのない人間にならうと努力解しています。



### 英語弁論大会に出場して

第一中三年

杉山 雄飛

## 新成人のみなさんにお知らせ

### 平成17年沼津第一地区成人式

日時 1月9日(日)午前10時~  
会場 大手町「ぬまづ軒」

■成人式に関するお問い合わせは  
青少年育成部 荒井 義夫  
TEL 055-962-0730

す。その中でも特に強く感じたのは、「人の支えの大切さ」です。

僕が市内大会を勝ち抜いて東部

一位という結果を出せたのもみんな

の支えがあったからだと思います。

夏休みの練習を見て下さったA.L.T

のアラン先生、日々の練習を丁寧に

分かりやすく教えてくださった小川

先生、そして辛い時励まし、支えて

くれた友達のおかげだと思います。

県大会の時も、わざわざ沼津から

出向いてくれた友達と小川先生が

いたからこそ、今まで最高の発表を

することが出来たと思います。みん

ながそばに居てくれる…。「これ以上

に心強い」とはあの時の僕にはな

かつたでしょう。そして発表が終わ

たあとにかけてくれた言葉は僕に

とうての一生の宝だと思います。

また、家族の支えも僕に力を与え

てくれました。家での練習の時は声

の大きさやアイコンタクトの仕方な

どのアドバイスをしてくれました。弁

論の中で言った「家族との『ミニ』

ケーションの大切さ」もより深く感

じる事が出来たと思います。

「playing catch from the heart

(心のキヤンチホール)」というのは自

分一人では成り立ちません。人の支

えが合つて初めて成り立つものでは

ないでしょ? 何かをするには必ず

誰かの支えが必要で、自分一人では

何もできません。この事が僕の一

番の収穫だったと思います。これ以

外にも僕が英語弁論で学び、感じた

ことはたくさんあります。その学ん

だことは将来に生かし、みんなと過

ごす残りの日々を一日一日大切に

過ごしていくと思います。

自分の未来と希望に、胸を膨ら

## 第八回 よさこい東海道

イキ・粹なかみせ

鳴子隊々長 田中 輝久



完全燃焼! 全力で踊りきりました

☆ 沼津市消防団 第二分団 団員募集

消防団員が不足しています。

二十歳五十歳位までの心身と

もに健全な成年。随時募集

第二分団分団長 (九六二) 二三三一志

電話 米山一志

第二分団 (九六二)

第一志

第三志

第四志

第五志

第六志

第七志

第八志

第九志

第十志

第十一志

第十二志

第十三志

第十四志

第十五志

第十六志

第十七志

第十八志

第十九志

第二十志

第二十一志

第二十二志

第二十三志

第二十四志

第二十五志

第二十六志

第二十七志

第二十八志

第二十九志

第三十志

第三十一志

第三十二志

第三十三志

第三十四志

第三十五志

第三十六志

第三十七志

第三十八志

第三十九志

第四十志

第四十一志

第四十二志

第四十三志

第四十四志

第四十五志

第四十六志

第四十七志

第四十八志

第四十九志

第五十志

## コミュニティからのおしらせ

☆ 香貫山 初日の出

ご来光 新しい年に  
ご来光をませ  
祭りは全国でも一番遅いよさこい祭  
りとあって、各地より踊り納めの  
チームが集まります。

私達イキ・粹なかみせ鳴子隊もハ

リとあって、各地より踊り納めの  
チームが集まります。

回連続出場で、三月より第一地区

セントーで練習を積んで参加いたし

ました。

結果は入賞を果たせませんでした

が、熱く、楽しく燃えた二日間でした

た。

消防団員が不足しています。

二十歳五十歳位までの心身と

もに健全な成年。随時募集

第二分団分団長 (九六二) 二三三一志

電話 米山一志

第二分団 (九六二)

第一志

第三志

第四志

第五志

第六志

第七志

第八志

第九志

第十志

第十一志

第十二志

第十三志

第十四志

第十五志

第十六志

第十七志

第十八志

第十九志

第二十志

第二十一志

第二十二志

第二十三志

第二十四志

☆ 第一地区 紅白初打ちソフトボール大会

皆様のご参加を

お待ちします。

・日時 一月十五日(土)

・場所 第一小グラウンド

(体育部)

※ 消火後一時間ほどで、

第一小グラウンド

(プラスチック類、針金等)

※ 残りの日々を一日一日大切に

過ごしていこうと思います。

自分の未来と希望に、胸を膨ら

ませております。



### 『出会おう、人と！』

末広町自治会長 早川鉢二郎

「自治会って何？どんな役目？」  
と子どもに聞かれたら、なんと答えた  
ものか。

行事をやる、人集めをする、川をきれいにしたり、  
広報を配ったり・・・コレって答え？

今の世の中、人間関係が希薄になって、近所で合つても挨拶すらできない。そんな人ととの溝を埋め、人間っていいなと感じたい。

行事が目的ではなく、行事を通して「何をするか」を考え、人と出会い、顔見知りになり、挨拶や言葉が飛び交う、そんな地域でありたいですね。

### 『時の流れに今思う』

添地町自治会長 後藤完次

霜月の良く晴れた或る日、空にジェット機が飛行機雲を引いてまたたく間に空にとけこんで行った。

私は戦争中に彼のB29の姿を、又当時の過酷なる日々の生活があった事を思い出す。

歌一首「いくさにて散りし息子の影をいて父母の悲しみ今も忘れじ」

時は流れて平成の平和なる時代に私達は生きている。

今第一地区でも色々な行事が有りますが声なき声を良く聞き、老若男女互いに手を取り相結び参加される事を希望致します。

### 『地域交流のかけはし』

大手町自治会長 小栗 高女

秋晴れの暖かい十一月二十一日、第一地区コミュニティ祭が、開催され、大勢の地域住民が、参加され、楽しい一日でした。

地域交流、隣近所のつきあい等が、希薄な今日此の頃、世間では、物騒な事件が発生しています。今一度、向こう三軒両隣のつきあいを大事にして、色々な事に、地域の皆様が関心を持ち、協力、参加すれば、いやな事も一つづつ、問題が解決するように思います。

常にお互いが裏方の精神で企画、運営すれば、もっと大勢の住民が参加してくれると思います。地域には大勢の住民が生活しています。

### 『第一地区コミュニティ祭』

西条町自治会副会長

二俣 直丕

第一地区コミュニティ祭が平成十六年度は十一月二十一日(日)に行われたのです。

毎年思うのは多くの人々が苦労して遅くまで飾り付けやセッティングを行った割には開催期間がたった一日足らずしかありません。

これはスタッフの人達はもちろん出品者の人達も多くの人々に見てもられないし、張りあいがないものになってしまいます。又搬入出のあわただしさもあって、以前は出品していたが以上の理由等で今は出品しなくなった人もいるようです。少なくとも展示の部だけでも土、日二日位は開催して欲しいと思います。

## 21世紀の赤ちゃん こんにちは

21世紀の地域を担う子供たちの誕生を  
コミュニティのみんなでお祝いしましょう！

該当する方ご連絡下さい TEL 963-5088地区センター迄

### 第一地区センター 休館日

#### 1月

1日 (土)	・ 2日 (日)
3日 (月)	・ 4日 (火)
10日 (月)	・ 17日 (月)
24日 (月)	・ 31日 (月)

#### 2月

7日 (月)	・ 12日 (金)
14日 (月)	・ 21日 (月)
28日 (月)	

#### 3月

7日 (月)	・ 14日 (月)
21日 (月)	・ 22日 (火)
28日 (月)	